

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	空間構造設計規準調査小委員会	主 査 名：大森博司 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)	委員長名：中島正愛 主 査 名：小河利行
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・目的：社団法人韓国空間構造学会附設研究所より、調査研究の委嘱「韓国国内での空間構造物に対する設計指針資料作成」を日本建築学会が受けた。このための活動をこの小委員会が中心となって行う。 ・活動：第一回会議：2009 年 3 月 13 日～15 日、韓国・ソウルにて会議を行いスペースフレーム、システムトラスについて日本での設計の現状について資料に基づき報告した。第二回会議：9 月 4 日～6 日、名古屋、豊田にて会議を行い、展開構造についての日本の設計の現状について資料に基づいて報告を行うとともに、豊田ドームの見学を行った。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 大森博司 (名古屋大学)、大崎純 (京都大学)、川口健一 (東京大学)、佐々木健友 (太陽工業)、伊藤啓 (三菱重工)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2009 年度予算	10,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本及び韓国にてそれぞれ 2 回、委員会を開き、情報交換を行うとともに、研究成果としてその報告書を提出した。 2. 国内に於ける展開構造物の構造設計規準の調査を行った。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際的な小委員会であるので各委員の委員会招集に向けての日程調整に時間を使うことが多い点は課題と言えばそうかも知れない。